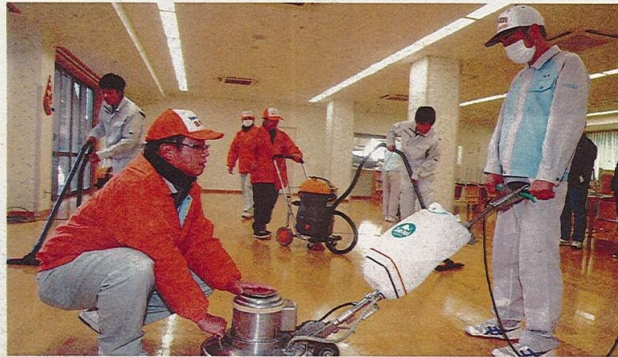


「第38回 社会奉仕作業」～障害児入所施設 未来～
(平成29年12月18日)

【平成29年12月27日 水曜日 徳島新聞朝刊より】



徳島ビルメンテナンス協会青年部員の指導で清掃奉仕に取り組むみなと高等学園の生徒（手前右）ら＝徳島市の障害児入所施設「未来」

国府支援学校・みなと学園生

福祉施設で清掃奉仕

協力の
活動に
ビルメン

徳島県内のビル管理 学校高等部（徳島市）
会社20社でつくる徳島 と、みなと高等学園
ビルメンテナンス協会 （小松島市）の生徒も
が、徳島市の障害児入 初めて参加した。
所施設「未来」で清掃 ビル管理技術を学ん
奉仕を行い、国府支援 ている国府支援学校高

等部1、2年生4人と
みなと高等学園3年生
4人、協会青年部員ら
21人が作業に加わっ
た。生徒たちは青年部
員の手ほどきを受け、
約160平方メートルの食堂
の床を専用の機械で洗
浄したり、ワックスを
かけたりした。

協会は歳末を迎える
この時期に毎年、福祉
施設などで清掃奉仕を
している。昨年、県や
県教委と特別支援学校
生の就労支援協定を結
んだことから、生徒の
技能向上を目的に共同
で行った。

国府支援学校高等部
2年平田緋翠さん（17）
は「床洗浄機の効果的
な動かし方などプロな
らではの技を教わるこ
とができて、とても勉
強になった」と喜んで
いた。（佐藤亮）

らではの技を教わるこ
とができて、とても勉
強になった」と喜んで
いた。（佐藤亮）